

統計局統計調査部経済統計課研究分析係長

井岡 貴司



PROFILE

Takashi Ioka

- 平成13年 4月 総務省採用
統計センター管理部管理課総務係
- 平成14年 4月 統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第一係
- 平成15年10月 総合通信基盤局電波部電波環境課
- 平成17年 8月 統計局統計調査部経済統計課事業所・企業統計室指導係
- 平成18年10月 統計局統計調査部経済基本構造統計課情報企画係
- 平成20年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課研究分析係長
- 平成22年 1月 統計局統計調査部経済基本構造統計課調整係長
併任 統計局統計調査部経済基本構造統計課研究分析係長
内閣府青年交流第3担当主査（政策統括官（共生社会政策担当）付参事官（青年国際交流担当）付）
- 平成22年 4月 併任 子ども若者・子育て施策総合推進室室員
- 平成23年 4月 統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第一係長
併任 統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第二係長（～平成23年6月）
- 平成26年 4月 現職

PROFILE Rumiko Yamaguchi

- 平成19年4月 総務省採用
統計局統計調査部消費統計課審査発表係
- 平成21年4月 大臣官房秘書課
- 平成22年8月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室企画指導第二係
併任 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室解析提供係
（～平成25年3月）
- 平成26年4月 現職

統計局統計調査部消費統計課 統計専門職

山口 硫美子



幅広い業務が待っています。

仕事内容

サービス産業を掴む

私が所属する経済統計課では、全産業分野における企業等の経済活動の実態を把握する「経済センサス・活動調査」やサービス産業の生産・雇用等の動向を把握する「サービス産業動向調査」などの統計調査を実施しています。

その中で私は、主にサービス産業に関する統計の研究業務を担当しています。飲食店や宿泊業などのサービス産業は、経済のサービス化に伴い、GDP及び雇用全体の約7割を占める大変重要な産業になっています。そのため、サービス産業の実態をより多角的に捉えることが求められており、その具体の把握方法を研究しています。

なお、経済のサービス化は国際的なトレンドでもあります。そのため、諸外国の統計機関においても同様の研究を行っており、年1回、サービス産業統計に関する国連の国際会議が開催され、私たち日本を含む数十か国の統計担当者が知見を共有しながら、世界共通のベストプラクティスを探求しているところです。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

幅広いフィールドをカバーする

私は入省以来、主に統計局で統計調査の企画実施部門を担当し、途中で電波行政や内閣府での国際業務なども経験してきました。本稿では、統計局における幅広い業務について御紹介します。

統計局は、「国勢調査」や「経済センサス」などの国の重要な統計調査を実施する政府統計の中核的な機関です。

「急速な少子高齢社会の到来」、「未婚率の上昇」、「非正規雇用者の増加」、「完全失業率の推移」、「消費者物価指数の推移」、「ワーク・ライフ・バランスの推進」といった今の日本を取り巻くキーワードが日々、ニュース等で報じられていますが、これらの根拠となるデータは、統計局が提供しているものです。

人口、世帯、労働、経済、社会生活など日本の社会経済全般の幅広い課題や動向を踏まえ、その道標となるデータを正確に把握し、適時に提供する仕事は幅広く必要不可欠なものです。

皆さんも私たちと一緒にこのような幅広いフィールドで活躍してみませんか。

とある一週間

- 月曜日**
海外からレポートの作成依頼。
毎度のこと専門英語が多い。
- 火曜日**
課内で研究業務の中間報告。
様々なアイデアをいただく。
- 水曜日**
定時退庁日。
残業しないで早々に退庁。
友人と飲み会です。
- 木曜日**
サービス産業に関する産学官
の協議会に随行。
- 金曜日**
次週の係の業務計画を作成。
1週間があつという間です。

統計で日本の未来図を描く

仕事内容

家計調査の企画の仕事とは？

私は消費統計課で家計調査の企画・実施を担当しています。業務内容は大きく分けて、①社会により有益な情報（調査結果）を提供するため、調査内容や手法を検討する企画業務、②毎月の調査を適切に実施するため、47都道府県の担当職員と連携を密に取りながら、指導やサポートを行う業務、の二つがあります。

家計調査は、昭和21年の開始以来、今日まで一日も欠かさずに、世帯の収入や消費支出などを調べている調査です。その結果は、社会情勢や日本の経済成長などの家計への影響を、つぶさに、客観的に捉えた指標として毎月公表されています。

長い歴史あるこの調査が、今後も正確かつ信頼できるもので在り続けるため、過去からの継続性や結果の精度を維持してゆかなければならない一方、時代の流れに柔軟に対応していくことも求められます。最近では、スマートフォンからでも調査に回答できるよう、オンライン調査システムの導入の検討も行っています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

統計を通じて国・地方の将来を支える！

統計調査の結果は、官民を問わず社会で幅広く活用されています。例えば、昨年の8→10%への消費増税の延期は、皆さんの記憶に新しいと思いますが、その判断材料の一つに家計調査の結果が用いられたことは、特に印象深い出来事です。このような影響を目の当たりにし、微力ながらも日本の将来を形作る一翼を担っているという責任・やりがいを日々感じています。

「統計業務」と聞くと、学者のような専門知識を必要とする業務に思われるかもしれませんが。確かに、業務によっては必要となる場合もありますが、入省後のOJTや研修で身に付けることが可能です。文系の私自身、入省前の統計知識はゼロに等しいものでした。

「統計業務」は、調査結果を通じ、間接的であれ中立的な立場から、国や地方自治体における様々な政策の立案・決定に携わっていると言えます。統計を通じて社会に貢献したいという意志をお持ちの方と一緒に働けることを楽しみにしています。

とある一週間

- 月曜日**
都道府県職員からの調査実施に関する問い合わせへの対応。調査は、毎月の公表に合わせたタイトなスケジュールのため、迅速な回答が求められます。
- 火曜日**
金曜日に神奈川県で行われる会議での講演の準備。
原稿やスケジュールの最終確認を行います。
- 水曜日**
都道府県へ交付する来年度の委託費の算出。都道府県での家計調査業務が円滑に遂行されるよう、予算配分を行います。
- 木曜日**
オンライン調査システムの開発について、統計情報システム課職員を交えて、システム業者と打合せ。
- 金曜日**
神奈川県に出張。統計調査員のための合同指導会において、家計調査の利活用事例について講演。

Private Time

小学生の子供が二人いますので、休みの日はもっぱら家族で過ごすことが多く、子供たちと一緒にジョギングやクッキングを楽しんでいます。また、数年前に内閣府でASEAN関連の仕事をして以来、東南アジア諸国の言語、文化、料理などに興味を持っており、子育てが落ち着いたら真剣に勉強したいと思っています。



Private Time

デスクワーク中心の業務のため、週末はジムに通って平日の運動不足を解消するようにしています。最近は、ヨガやピラティスに夢中です。深い呼吸をしながら頭を空っぽにしてレッスンを受けた後は、気持ちがすっきりします。また、肩こりなどの悩みも改善されてきました。心身ともにリフレッシュできるところが魅力です。

